

第5次男女平等推進計画 進捗状況確認方法案

1 第4次計画の『施策の方向（各事業）の評価結果』（現行）

【めざすべき姿Ⅰ】 【基本施策1】 お互いを尊重し合う意識の醸成
 【施策の方向Ⅰ-1-1】 男女平等参画に関する教育、情報、学習機会の提供

No.1 「（仮称）男女平等参画条例」の制定検討

内容：町田市にふさわしい「（仮称）男女平等参画条例」の制定についての検討を行います。

対象：市民、事業者、市組織

No.4 男女平等に関する情報や資料等の収集・提供

内容：広報まちだやホームページ等による学習機会の周知を行います。また、資料の収集・提供を行います。

対象：市民

担当課	年度	取り組み内容	取 り 組 み 実 績	振り返りと今後の目標	自己評価
男女平等推進センター	2019	①男女平等推進センターだより発行 ②男女平等推進センター運営委員会編集情報紙「あなたと」発行 ③男女平等関連図書を購入 ④男女平等関連映像資料の購入	①発行数：115,000部 （新聞折り込み含む） ②発行数：27,400部 ③書籍購入：26冊 書籍貸出：875冊 ④DVD購入：4本 映像視聴：112本	①2019年度は1面でリプロダクティブヘルス・ライツを特集し、女性の体についてライフステージごとに気を付けるべきことを知ってもらう機会とした。また2、3面でまちだ男女平等フェスティバル、4面でセンターで行っている事業を紹介した。今後も市民の気づきのきっかけになるような記事作成に努める。 ②センター運営委員に、センターで行っている講座や蔵書の紹介記事を作成していただき、広く市民に情報提供した。 ③、④運営委員会からの意見を参考にしたり、男女平等参画に関するもので話題になっている図書、DVDを購入した。	★★★
	2020	①男女平等推進センターだより発行 ②男女平等推進センター運営委員会編集情報紙「あなたと」発行 ③男女平等関連図書を購入 ④男女平等関連映像資料の購入	①発行数：100,000部 （新聞折り込み含む） ②発行数：4,000部 ③書籍購入：25冊 書籍貸出：285冊 ④DVD購入：3本 映像視聴：109本	①新たな試みとして、タブロイド判4面の全てを、まちだ男女平等フェスティバル実行委員会に作成してもらうことで、市民目線で読みやすい紙面ができた。 ②センター運営委員に、センターで行っている講座や蔵書の紹介記事を作成していただき、広く市民に情報提供した。新型コロナウイルス感染症の影響により、町内会自治会での回覧依頼ができず、発行数が減少した。 ③、④男女平等参画に関するもので話題になっている図書、DVDを購入した。	★★★

2 第5次計画の『施策の方向（各事業）の評価結果』（案）

めざすべき姿Ⅰ 一人ひとりの人権を尊重するまち

基本目標1 お互いを尊重し合う意識の醸成

基本施策1 男女平等参画に関する市民意識の向上

施策推進の方向1 年齢層に応じた男女平等参画に関する普及啓発

担当課	取り組み内容	取り組み実績	2021年度との比較や変更点	2021年度評価	2022年度評価	評価の理由	課題	5次計画の新たな視点
男女平等推進センター	2022年に策定した第5次町田市男女平等推進計画の周知を行う。	・広報まちだ・市ホームページへの掲載 ・様々な場面での説明、周知 （中小企業同友会への講演、市民講座の冒頭で説明、大学への説明、新入職員研修など）	②広報まちだ・市ホームページだけでなく、様々な組織への働きかけを積極的に行い、足を運びながら周知に努めた。	★★	★★★	②従来行っていなかった組織への積極的アプローチにより、様々な立場・年齢層に向け普及啓発・周知を行った。	若年層向けの情報発信が難しいため、デジタル媒体などを活用して、目にとめてもらう機会を増やす必要がある。	デジタル技術 <input type="checkbox"/> 男性へのアプローチ <input type="checkbox"/> 多様性の尊重 <input type="checkbox"/> SDGsの推進 <input type="checkbox"/>

<例>

取り組み内容を簡潔に示す

取り組み内容を簡潔に示す

前年度との比較や変更点を示す

過年度との比較
(★~★★★★までの4段階評価)

特に、新規の取り組みや、事業の拡充があった場合は詳細を示す

次年度に向けた改善点等を示す

3 第4次計画の『町田市男女平等推進会議からの評価・総評』（現行）

めざすべき姿Ⅰ 一人ひとりの人権を尊重するまち
基本施策1 お互いを尊重し合う意識の醸成

男女平等推進会議		総 評（2021年度実施分）
評価年度	評価	
2022	★★	
委員コメント		

4 第5次計画の『町田市男女平等推進会議からの評価・総評』（案）

めざすべき姿Ⅰ 一人ひとりの人権を尊重するまち
基本目標1 お互いを尊重し合う意識の醸成

A～Dまでの4
段階評価

評価対象年度	総合評価	基本施策ごとの評価	
2022	C	I-1-1 男女平等参画に関する市民意識の向上	C
		I-1-2 多様性を尊重する意識の浸透	C
		I-1-3 心と体の健康支援	B
評価理由及び改善策等の提言			
A～Dまでの4段階評価			

進捗状況評価結果一覧

めざすべき姿	基本目標	総合評価	基本施策	評価	総 評
I 一人ひとりの人権を尊重するまち	1. お互いを尊重し合う意識の醸成	C	1 男女平等参画に関する市民意識の向上	C	
			2 多様性を尊重する意識の浸透	C	
			3 心と体の健康支援	B	
	2. 配偶者等からのあらゆる暴力の根絶	B	1 配偶者等からの暴力の防止と早期発見	B	
			2 配偶者等からの暴力による被害者への支援	B	
			3 ハラスメントやその他暴力への対策	C	
II 一人ひとりが個性と能力を生かして活躍できるまち	1. 雇用や職業等の場における男女平等参画の推進	C	1 多様で柔軟な働き方を選べる環境整備への支援	C	
			2 女性の活躍推進に向けた取り組みへの支援	B	
	2. 仕事と家庭生活の調和に向けた育児・介護の支援	B	1 子育てに対する支援	B	
			2 介護に対する支援	B	
	3. あらゆる分野における男女平等参画の推進	C	1 政策・方針決定過程への男女平等参画の推進	D	
			2 男女がともに参画する地域社会づくり	C	